



## 施設説明

「山間（やまあい）と農村に浮かぶ平成の宿場集落」

### 賑和園の拠点

- 賑わい** 伊達市の産品でもてなし、人が集まる「賑わい」を生む場
- 和み** ゆっくりと心地よい時間を通せる「和み」の場
- 囲み** 訪れた方々が、歓迎されている雰囲気を感じる場

### 広場

芝生とウッドデッキ調の縁側イメージの空間。

### フードガーデン（テナント棟）が店空間を生む

まるで、出店のように賑やかな場所を演出し、休む場所やたまりをたくさん設ける。天気の良い日は縁側テラスで食事。

### 宿場の通りをイメージ

通りに面して店があり、散策しながら、エントランスへ。店内も壁には伊達市産材の杉を使った縦格子と屋根型の宿場街をイメージした店が並び、その中を歩いて散策するイメージ。レストランはベンガラ色の壁、黒い柱の古民家をイメージ。

### イベント交流広場

売り場とレストランの中間にあり、様々な活用が考えられる場所。ももまつり、霊山太鼓など。

### 災害時の拠点施設

2階には防災時の備蓄倉庫を用意。

敷地面積 道の駅全体 14,400㎡  
構 造 鉄骨造平屋建て、道の駅一部2階建て  
延べ床面積 1,377㎡  
本体施設 1,287㎡（道の駅912㎡ + 道路情報施設375㎡）  
フードガーデン 90㎡

### 重なる複数の屋根

様々な屋根があり、その重なり間を通る宿場をイメージした屋根構成。

### サービス通路

サービス通路を設け、搬入などで、来客の動線と重ならないように計画する。

### 多目的駐車場

トイレに近い場所に計画。屋根下空間を通して移動できます。

### トイレと道の駅を合築することによる利便性の向上

一度外に出ることなく自然に全体を感じられる空間構成。内部を散策したくなるような施設を目指しました。情報・休憩とトイレは24時間。

藁をイメージしたトイレ  
トイレを囲んだ障子のようなガラスが夜にあんとんのように優しく光り、来客を向かい入れます。

2階

1階